

東京都福祉施設士会主催

平成28年度秋季セミナー開催のお知らせ

東日本大震災、熊本地震から見えた
テーマ「誰も言わない 福祉施設にとっての“リアルなリスク”」
～職員として、施設として、法人としてのそなえのあり方～

【 開 催 要 綱 】

【趣旨】

東日本大震災、熊本地震と大きな災害が続いております。社会福祉施設においては、今後、具体性を帯びている首都東京の地震災害対策に備えるために何が必要か、現場から見えた“リアルなリスク”を知ることが大切です。地震災害が起きた時、現場の職員が現実的な行動を、迅速かつ的確にできること、更に施設長として、法人としての役割を考える。

今日から実行できる“実用的なそなえ”そして地域の中の施設や法人の役割の重要性を学ぶことを、目的として開催いたします。

1. 主 題 「誰も言わない福祉施設にとっての“リアルなリスク”
～職員として、施設として、法人としてのそなえのあり方～
2. 講 師 フォックスブルー株式会社 代表取締役 早川英樹氏
3. 主 催 東京都福祉施設士会
4. 後 援 東京都
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 日本福祉施設士会
5. 日 時 平成28年9月8日（木）午後1時30分～午後4時
6. 会 場 淑徳大学 東京キャンパス 4, 5号館
〒173-0063 板橋区前野町2-29-3
Tel 03-3966-7631
・東武東上線「ときわ台駅」北口徒歩15分
・東武東上線「ときわ台駅」北口下車「赤羽西口行」バス 前野小学校下車 徒歩1分
・JR赤羽駅西口下車「ときわ台駅行」バス 前野小学校下車 徒歩1分
7. 参加者 (1) 東京都福祉施設士会会員及び会員在籍施設職員
(2) 東京都社会福祉協議会会員及び会員在籍施設職員
8. 参加者数 200名
9. 参加費 2,000円 (東京都福祉施設士会員は1,000円)
10. 申込み締切 平成28年8月20日 ※定員になり次第締め切ります。

<講師プロフィール>

フォックスブルー株式会社
代表取締役

早川英樹(ハヤカワヒデキ)

1961年兵庫県生まれ



- 神戸製鋼所に在職中の1995年、神戸市内で阪神淡路大震災により被災。その後、復興推進本部のスタッフとして復旧/復興及び災害対策事業に関わる。
- 外資系半導体企業に移籍。自身の扱う半導体が、文部科学省が進めた地震計内蔵型の緊急地震速報受信機の開発に採用された事をきっかけとして再び地震対策事業に関わる。
- 現在は、地震計内蔵型の緊急地震速報受信機の普及だけでなく自らの実体験に基づいた『地震から生き残るためのノウハウ』を社会に浸透させるべく、学校、保育園、幼稚園、高齢者介護施設、障がい者施設など多方面で提案活動を実施中。
- また特別養護老人ホームの立ち上げとマネジメントに携わった経験から、高齢者介護施設における危機管理について、多面的でより現実的な対策の提案を行う。

参加申込書

施設種別 高齢 保育 障害 その他

施設名 _____

参加者名 _____ 職種 _____

※東京都福祉施設士会会員番号 _____

施設所在地 〒 _____
住所 _____
Tel _____ FAX _____
Eメール _____

<参加費> 当日会場でお支払いください。

<問い合わせ先> みさと保育所 阿部 ☎042-375-0727

<申込方法> 慈愛会保育園

東京都福祉施設士会事務局 FAX 03-3816-2018

申込書にご記入の上、このままFAX送信してください。